

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	みどりのリサイクル事業	4-4
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	家庭からの剪定枝葉や草花を収集し堆肥化を行い、燃やせるごみの減量を図る。		
(2)事業開始年度	平成15年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	ごみ発生抑制と排出抑制のしくみづくり	
	施策コード	40301	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	ごみの減量化と資源の有効利用を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	家庭から出される剪定枝葉や草花を収集し、堆肥化し再利用することにより、燃やせるごみの削減を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	花川北・南、樽川、緑苑台、花畔地区の公園や緑地帯に収集場所を設け、家庭から出される剪定枝葉や草花を収集し、堆肥化を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	収集回数を18年度×21回から、19年度×29回に変更。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	生ごみ堆肥化施設を有している市町村では剪定枝葉などの堆肥化も行っているところもある。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	収集場所が公園などのため、公園利用者や近隣住民の迷惑にならないよう、排出ルールを守るなどの協力が必要である。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	4,379	7,823	6,825	3,619
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,726	3,314	3,588	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	6,105	11,137	10,413	
事務に従事した正職員延べ人数	0.20	0.40	0.40	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入						出					
	計(B)	0	0	0	0						
	(A/B)						計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
回収量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	119	425	937	
	達成率	-	-	-	
収集箇所数	目標値	92	92	92	92
	実績値	92	92	92	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
回収回数	目標値	8	21	29	10
	実績値	8	21	29	
	達成率	100.0	100.0	100.0	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
家庭ごみ排出量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	16,096	15,547	10,071	
	達成率	-	-	-	
剪定枝葉回収量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	119	425	937	
	達成率	-	-	-	
家庭系ごみ資源化率(%) (みどり回収量/ゴミ処理量+リサイクル資源総量)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	0.60	2.10	5.91	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性			
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい	1	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか
	2 普通		
	3 小さい		
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか
	2 民間等でもできる		
	3 民間等でやるべき		
(2) 効率性			
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である	2	ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
	2 難しい		
	3 可能である		
(3) 公平性			
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である	3	(1)~(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。
	2 難しい		
	3 可能である		
			13

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	「燃やせるごみ」として出されていたごみの削減と、資源リサイクルにも繋がるが、家庭での自家処理も必要と考える。	
	(2) 今後の方向性・課題	平成19年度は春から秋まで通年で実施したが、剪定枝葉以外の角材・廃材などルールを守らない一部の排出者が見受けられた。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
平成20年度からは、春(5/12~6/6)、秋(10/27~11/25)に変更したが、期間の延長要望が多数寄せられている反面、実施期間外に排出する住民もあり、収集場所の近隣住民からは、公園利用や美観の問題から、廃止してくれとの要望も一部にはある。今後は、自家処理の方法等も含めた啓蒙・啓発や、受益者負担についても検討する必要がある。			

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	成果品も還元できモデル事業としては一定の成果が上がっている。	
	(2) 今後の方向性・課題	市民要望が強い事業であるが、ごみとして市が収集処理することなど事業自体の再構築が必要。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
収集回数及び収集時期の見直しを行う。			